

ジョイサポコラム No.16

キャンプの楽しみ

三宅整形外科小児科クリニック 小児科 三宅 直香



皆様こんにちは。三宅整形外科小児科クリニック小児科の三宅直香（のぶか）と申します。横須賀に来て、浦賀の地で開業し、7年目を迎えました。

私の出身は宮城県の大崎市（旧古川市）という、ササニシキやひとめぼれが有名な米どころです。当時の実家周囲には田んぼが広がり、夏は田んぼが緑色に染まり蛙の合唱がにぎやかで、秋になると田んぼは黄金色にそまり、いなごが飛び跳ねる、そんなまちで育ちました。大学進学で上京し、卒業後は小児科に入局、東京での勤務を経て主人の故郷である横須賀市で開業するに至りました。

はじめて馬堀海岸の海沿いを車で走った時の感動は今でも覚えています。外国みたい…。田

舎育ちの私には、東京での生活よりも心地よく、程よく田舎で程よく都会的な横須賀という街はあつという間に居心地の良い場所となりました。外から来た私をもすつと受け入れてくれる、寛容な明るい雰囲気が好きです。

家族構成は、整形外科の主人、小学6年の長男、小学2年の次男、年長の三男の5人家族です。男子三人、今日こそは小言を言わずに過ごそうと思ったそばからついつい。理想の母親には程遠いですが、おかげさまで毎日ばたばたと過ごせています。私にはばたばたな生活がちょうどよいようです。

そんな家族での趣味はキャンプです。キャンプ歴6年目になります。キャンプデビューは、三男が1歳そこそこの時。自分が小さい頃にやっていたこともあり、いつかはと思ってはいましたが、ご縁と、主人のやる気スイッチが入り、キャンプ生活の幕が開けました。土曜日の仕事終わりにキャンプ道具を車いっぱいに積みこんで軽井沢方面に向かい、日が落ちてきた薄暗い中で子供を背負ってハンマーでペグ（テントを固定する杭のようなもの）を打っていたのを思い出します。毎月のようにそんな生活が…。おかげで鍛えられました。一緒にキャンプをする仲間にも恵まれ、キャンプの楽しさにどんどんはまっていきました。ちなみに、キャンプは連泊がおすすめです。一般的には1泊、長くて2泊いうところでしょうか。できれば3泊以上したい我が家です。夏は最長で5泊、冬は年末年始で4泊だったと思います。飽きません。楽しいんです。

キャンプの楽しみはいろいろあります。汗だくで設営したあとに飲むビール、新鮮な空気、四季折々の景色、夜空の星、夜の静けさ、そして食事です。キャンプ飯と呼ばれ、SNS上にはそれはおしゃれで美味しそうなメニューがたく